

# 平成28年度 サニー・サイト事業報告

## 『就労継続支援B型・生活介護事業』

社会福祉法人ばなな『サニー・サイト』

文責：管理者 松本 三貴

### 1) 利用者受け入れ状況等

- ① 利用者開始者：無し
- ② 利用者契約解除：平成28年 9月30日付 男性利用者1名

### 2) 利用者支援の具体的なあり方

#### 『共通』

1. 利用者の希望に添った個別支援計画を作成、必要に応じてモニタリングし、支援を行った。
2. 家族、グループホーム支援員、他事業所支援員、医師、看護職員と連携を密にし、体調管理を行った。
3. 自主製品製造（クッキー）、請負作業、エコロジー活動（アルミ缶・インクカートリッジ回収整理）、創作活動（さをり織り）等、希望と体調に合った作業を選択し、取り組んだ。
4. 集団生活の中で、自主性・協調性・社会性を育めるよう支援を行った。
5. 音楽療法は、毎月1回のペースが定着し年12回実施した。参加者も毎月、楽しみにしている。

#### 『就労継続支援B型』

1. 「クリスマス：434, 893円」と「バレンタイン：145, 407円」と、モンキーばななと合同でクッキー注文販売の取り組みを実施した。  
中区役所での販売を毎月1回のペースで、年12回行った。  
授産会計（共通）売上げ合計 3, 235, 852円（27年度 3, 437, 336円）  
工賃 平均 7, 804円（27年度 7, 305円）
2. 下請け作業の閑散期に仕事を確保するため、授産活動支援センターから紹介された作業を請け負ったり、作業の安定した供給に努めてきた。今も継続する利用者の紹介による下請け事業は、年6回の受注で289, 267円の売上げを計上した。

#### 『生活介護』

1. 看護職員と柔道整復師の指導の下、二次障害防止に努め、安全への配慮と共に健康活動を行った。  
口腔ケアは毎週木曜日に行っている。  
柔道整復師を雇用し、毎週水曜日のマッサージが定着した。
2. レクリエーションや外出訓練、季節行事に参加した。

### 3) 利用者支援の具体的内容

#### 『共通』

1. 日課（月～金・祝日） 1日の流れ  
9：30～ 9：45 朝礼・ラジオ体操・体調報告・各班作業予定発表  

9：45～11：00	作業
11：00～11：10	休憩
11：10～12：00	作業

  
12：00～13：00 昼食（各自。希望者は宅配弁当を利用）・休憩  
13：00～13：05 福祉レクダンス・ラジオ体操

13:05～14:30 作業

14:30～14:40 休憩

14:40～15:30 作業

15:30～16:00 掃除・帰宅準備

16:00～ 終礼・帰宅

\*クッキー作業は途中休憩なし

\*金曜日・・・14:30 終礼・帰宅

## 2. 週間

木曜日 口腔ケア（希望者のみ）

協力医療機関：おのえ歯科

水曜日 柔道整復師によるマッサージ（生活介護利用者）

配達 毎週、「美樹の園」「モンキーばなな」へのクッキーの納品、隔週「ぎやらりいみなみかぜ」「ファミリーマート堺一条通店」でのクッキー在庫チェックと入替、不定期に注文のある「メゾン・ド・イリゼ」へのクッキー配達を実施。

## 3. 月間

販売訓練 支援学校4校に8月除く毎月1回、出身利用者が交代で参加した。  
年12回、希望者が交代で中区役所での自主製品販売を行った。

広報 担当者による「こんにちはサニー・サイトです」の発行と深井清水町への配布を実施。

ミーティング 利用者の希望や意見を基に自主運営を目標にしたが、利用者からの議題がほとんどなく、必要な時に職員から提案し実施した。

## 4. 年間行事

①外出訓練 4月25日（月）木下大サーカス

4月29日（金）パペットセラピー観賞

7月29日（金）ボーリング大会（堺浜パニックボール）

10月15日（土）ピュアハートコンサート

12月23日（祝）クリスマスコンサート（浜寺教会）

深井小学校6年卒業音楽会、さをりの森、カラオケ大会2回、手品とオカリナ演奏

②販売訓練 泉北カトリック教会 年6回（奇数月）

ナカ・ナカマネットワーク 年3回（5月 9月 2月）

6月 4日（土）ハートフェアバザー

6月 7日（火）あじさい一般公開販売

8月25日（木）市庁舎販売

10月22日（土）さかいボランティア・市民活動フェスティバル

10月30日（日）健康福祉短期大学祭販売

11月12日（土）矯正展

11月13日（日）浜寺教会チャリティーバザー

2月22日（水）市庁舎販売

③社会見学 6月24日（金）社会見学

（明治乳業ヨーグルト館、和歌山マリーナシティ黒潮市場、湯浅醤油工場）

④季節行事 4月 4日（月）花見ドライブ

4月 5日（火）花見昼食（はざま公園）

5月 5日（木）バラ園花見（浜寺公園）

7月23日（土）福祉盆踊り大会（堺支援学校）

8月 1日（月）PL花火観賞（はなのこみち屋上）

8月20日（土）中区区民フェスタ

10月19日（水）パーベキュー大会

11月 3日（祝）スポーツ・レクリエーション大会

11月23日（祝）福祉フェスティバル

1月 4日(水) 初詣・新年会

- ⑤農園作業： 農作物の収穫(たけのこ、じゃがいも、さつまいも、栗、大根)
- ⑥調理訓練：
  - 5月 3日(祝) ちらし寿司 豚汁 利用者14名 職員5名
  - : 7月18日(祝) ジャージャー麺 利用者10名 職員6名
  - : 8月11日(祝) 野菜添えおろしハンバーグ みそ汁 利用者11名 職員4名
  - : 9月22日(祝) 三色丼 キノコのみそ汁 利用者12名 職員6名
  - : 10月10日(祝) 豚肉の生姜焼き とうふのみそ汁 利用者12名 職員7名
  - : 12月29日(金) 寄せ鍋 利用者20名 職員9名 ボランティア2名
  - : 3月20日(祝) ぎょうざ 利用者12名 職員4名

## 5. サービス提供日

①月曜日～金曜日。

②休所日 ①土曜、日曜(不定期に行われる外出及び販売訓練等は除く)

② 8月13日(木)・14日(金)の平日(2日間)・・・盆休み

③ 9月20日(火)台風のため、暴雨風警報が発令された為、休み

④12月29日(火)～1月4日(月)(5日間)・・・年末年始休み

全員が対象ではなかったがニーズに応え、祝日開所、12月3日、12月10日開所した。

H28年度年間開所日数：263日 延べ4,775名利用(前年4,993名)

一日(平均)18.1名の利用(前年度平均18.9名)

## 6. 利用者の健康管理

- ・家族・グループホーム支援員と連携し、毎朝起床後の検温と作業開始前の体調チェック実施。
- ・毎月、第1月曜日に看護職員による体重・体脂肪等測定、バイタルチェックを実施。
- ・5月31日・6月8日、日野クリニック、6月16日、6月30日、耳原病院にて健康診断を実施。
- ・3月16日、堺地域産業保健センターに依頼し、岡原医師による健診フォローを実施。
- ・変化があった時、家族と情報交換を行い、利用者の健康状態や身体状況を把握し観察を行った。
- ・インフルエンザ対策の一環として11月7日、予防接種を実施し、マスク着用呼びかけや入室時の手洗い・うがいを励行した。
- ・感染予防のため、毎朝キセキクリーンによる施設内手すりの消毒と空中散布を実施。

## 7. 通所支援

- ・自力通所の困難な利用者述べ12名を福祉車両で送迎を行った

## 3) 職員について

### 1. 採用及び退職等

- ① 採 用：女性嘱託職員 1名(平成28年 6月21日付)  
男性非常勤職員1名(平成28年10月 3日付)  
男性常勤職員 1名(平成28年10月 3日付)

- ② 退 職：男性職委託職員1名(平成28年10月31日付)  
男性非常勤職員1名(平成28年11月15日付)

- ③ 配 置 転 換：男性常勤職員 1名(平成29年 1月 1日付) モンキーばななへ

④ 専門資格 状況：職員11名中（介護福祉士：3名・准看護師：1名）

## 2. 職員研修の現地状況 <専門性豊かな職員集団を目指して!!>

利用者への理解を深め、適切な支援等が提供できるように、職員の専門性向上を図るため、常に学ぶ姿勢を持ち、積極的に研修に参加。

4月	27日(月)	法人全体研修	
5月	19日(木)	安全運転講習会	(1名)
	21日(土)	安全運転講習会	(1名)
	26日(木)	指定事業者・施設集団指導	(1名)
6月	9日(木)	ATC防災研修	(1名)
	14日(火)	新任研修	(1名)・21日(火)(1名)
	22日(水)	工賃向上セミナー	(1名)
	23日(木)	新任研修	(1名)・28日(火)(1名)・30日(木)(1名)
7月	4日(月)	5日(火)	主任講座 (1名)
	12日(火)	新任研修	(1名)・14日(木)(1名)
	15日(金)	「さかいボランティア・市民活動フェスティバル」説明会	(1名)
	19日(火)	新任研修	(1名)・21日(2名)・26日(1名)・28日(木)(1名)
	20日(水)	法人全体研修「差別解消法」	(7名)
8月	2日(火)	新任研修	(3名)・4日(木)(3名)・9日(火)(3名)
	3日(水)	24日(水)	工賃向上セミナー (1名)
	24日(水)	福祉車両安全運転講習	(1名)
	25日(木)	さをり織り研修	(1名)
	26日(金)	自閉症スペクトラム障害のある人たちへの合理的配慮について	(1名)
	30日(火)	危機管理について～今後の事業所における対応・対策について～	(1名)
	31日(水)	法人全体研修「支援とは」	(8名)
9月	21日(水)	工賃向上セミナー	(1名)
	27日(火)	これからの発達凸凹支援～家庭・学校・園・地域で支えるには	(2名)
	28日(水)	法人研修「福祉の常識・非常識」	(8名)
10月	6日(木)	新任研修	(4名)
	12日(水)	工賃向上セミナー	(1名)
	20日(木)	新任研修	(4名)
	25日(火)	26日(水)	相談支援従事者研修 (1名)
	26日(水)	法人全体研修	(9名)
	27日(木)	授産活動セミナー	(4名)
11月	11日(金)	感染症予防講習会	(2名)
	30日(水)	法人全体研修	(10名)
2月	14日(火)	新任研修	(1名)
	17日(金)	施設部会 実践交流会	(6名)
	21日(火)	新任研修	(3名)
3月	7日(火)	新任研修	(3名)
	22日(水)	地域における授産活動について考える	(2名)

## 4) 地域交流

### 1. 学校見学・実習生受け入れ

- 7月22日(金)「関西医療大学保健看護学部」4名と教師、「麦の会」職員が見学

- ・ 11月 4日（金）西浦支援学校2年生の保護者2名見学

## 2. 地域学校実習生受け入れ

- ・ 6月22日（水）～23日（木）泉北高等支援学校から実習生1名
- ・ 8月22日（月）～23日（火）泉北高等支援学校から実習生2名
- ・ 10月14日（金）堺支援学校から実習生1名
- ・ 10月24日（月）～25日（火）泉北高等支援学校から実習生1名
- ・ 10月27日（木）泉北高等支援学校から実習生1名
- ・ 12月 8日（木）～9日（金）泉北高等支援学校から実習生1名

## 3. その他見学・実習受け入れ

- ・ 4月26日（火）西区地域福祉課より紹介で、親子2名見学
- ・ 9月 5日（月）泉北高等支援学校から1名と保護者1名
- ・ 1月26日（木）深井中央中学校2名体験実習
- ・ 2月 2日～3日深井中央中学校2名職場体験
- ・ 3月 7日（火）他事業所から移籍先を探している 親子2名で見学
- ・ 3月 9日（木）・13日（月）・16日（木）見学後の体験実習 1名

## 4. 情報発信

- ①法人機関紙「ばななの木」を年4回発行するため、編集と発送準備に関わった。各事業所の現状、家族のおもいなどを多くの方に発信し理解と協力を求めた。
- ②活動の認知と障がい者への理解を深めるきっかけとなるよう、毎月「こんにちはサニー・サイトです」の発行と深井清水町への配布を継続した。3月で通算99号となった。（継続8年4ヶ月）寄せられた感想や聞き取った住民の声を事業所や法人内に反映させながら、結びつきを深めてきた。
- ③法人のホームページを活用し、事業所の事業報告書等の閲覧も行い、法人経営の透明化に努めた。
- ④引き続き深井清水町自治会へ入会し、役員へ「ばななの木」を届けた。
- ⑤繋がりを把握するため、アルミ缶・インクカートリッジ回収協力者の名簿づくりをスタートさせた。

## 5. ボランティアの受け入れ

- ・作業を一緒に行う中で、利用者の気持ちや願いを察知し、側面から支えてもらえる存在として、積極的に受け入れた。
- ・ 5月 2日（月）「新大阪歯科衛生士専門学校」から2名ボランティア体験（授業の課題）
- ・ 5月16日（月）「大阪国際福祉専門学校」から2名ボランティア体験（授業の課題）
- ・ 送迎職員1名が次の送迎までの間、ほぼ毎日ボランティアとして下請け作業の応援に入る。
- ・ 現在、女性1名の方が、縫製関係に携わってもらっている。

## 5) 防災・避難訓練の実施

- ・ 9月 5日、「大阪880万人訓練」に呼応した避難訓練をする。
- ・ 3月30日、中区消防署の指導を受け避難訓練と水消火器の使い方訓練をする。
- ・ アルソック担当者により定期的に消火設備・避難経路の点検を受けた。
- ・ 深井校区の防災訓練に職員1名が参加した。

## 6) 事故防止対策・対応

・事故防止のための環境整備など、配慮してきたが、10件の事故が発生した。

①送迎車の物損：6件

②利用者けが：2件

③物損：1件

④利用者他傷行為：1件

・事故が発生した時、連携しながら対応し、関わりのある職員がすぐに報告書を作成し、職員会議で原因を集団で検討し、起きてしまったことを真摯に受け止め、全職員が再発防止策を共有した。  
・避けられる事故をなくすため、職員のスキルアップと常に“気づき”ができるような意識改革（リスクマネジメント）の徹底が課題となる。

## 7) 苦情解決処理状況

①送迎車について：3件 ⇒定期的に送迎会議を行い、安全運転第一で行えるよう意識を高めよう。

②職員間の共有不足：2件 ⇒全職員で共有した支援が行えるよう、支援内容を再確認する。

## 8) 成年後見人制度及び地域権利擁護事業

・利用無し

## 9) 他団体との交流、連携

①家族会、家族・支援員との連携について

・家族会担当者を設け、家族会からの貴重な意見は真摯に受け止め、出された要望について可能な限り対応した。3月23日、恒例になった自力通所者への表彰式の後、家族会と職員の懇談会を開催し、家族9名とサニー・サイト職員2名、はなのこみち管理者が出席する。初めて顔を合わす家族もあり、家族どおしのつながりを深めるきっかけにもなった。  
・6か月後の支援計画モニタリングの際、担当職員を中心にすべての家庭訪問を実施し、通所ルートやまわりの環境を把握し、支援計画に反映させた。  
・日常的には、電話、連絡ノートを活用して事業所や自宅での様子や普段と違ったことなどを個別に情報交換し、家族・支援員と連携しながら日々の支援を行った。  
・利用者の加齢に伴い、健康面で、とりわけグループホーム支援員との連携を密に行った。

②中区の作業所交流会に担当者が毎回出席し、利用者と共に「ナカ・ナカマネットワーク」販売に、(3回)参加した。8月22日、午後から開所し「中区区民フェスタ」に販売とイベントに参加した。

③パッセネットワーク：(平成14年より加盟)

毎月の定例会議へ職員1名が参加することにより、パッセ主催の共同バザー出店や堺市主催のイベントでの共同受注などを受託している。また、定例の担当者会議においては、他事業所の生産活動の取り組み等、積極的に情報交換を行い、職員の技術向上にも貢献をしている。